

H₂C 微発泡タイプ

ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム
活性持続型塩素配合

洗剤の
エース
A

除菌
脱臭

洗剤の
エース
A

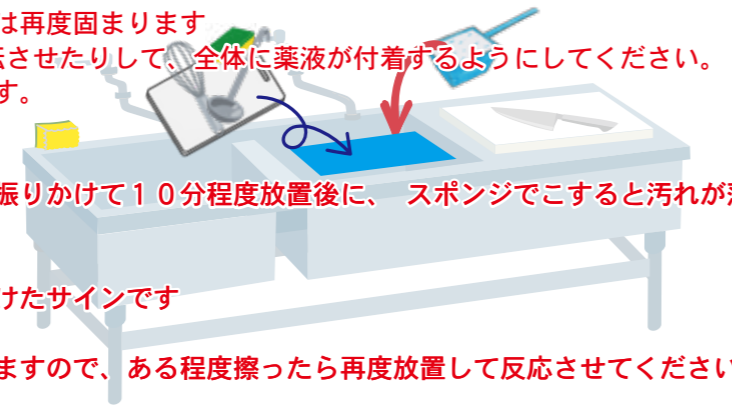
洗剤の
エース
A



使用マニュアル

浸漬編

- ① 流し台にぬるま湯 (約 40°C) を貯める
 ※ 40°C以上熱くすると洗剤の能力が低下します
 ※ 先に洗剤のエースHCを入れると金属が変色します
- ② お湯の中に洗剤のエース HC を入れてよくかき混ぜる
 ※ 10L に対して、汚れ具合に応じて付属のスプーン1~5杯が濃度の目安です (付属のスプーン1杯30g)
- ③ 下洗いした対象物を 10~60 分漬ける
 ※ 汚れ具合によって時間を調整してください (指でなでて脂が溶けたらOKのサインです)
 ※ 60分以上放置しないでください
 ※ 洗浄面を乾燥させないでください。乾燥すると脂は再度固まります
 ※ 完全に浸漬できない場合は、時々かけ流したり回転させたりして、全体に薬液が付着するようにしてください。
 ※ 浸漬時間が長いほど、除菌洗浄効果が高くなります。
- ④ スポンジで軽くこする
 ※ 強烈な汚れに対しては、洗剤のエースHCを直接振りかけて10分程度放置後に、スポンジでこすると汚れが落ちます
 ※ 100円均一のスポンジで十分です
 ※ 薬液を含まない固いスポンジは不向きです
 ※ 薬液がカフェオレ色になったら油汚れが薬液に溶けたサインです
 ※ 肌の弱い方は手袋を着用してください
 ※ 蓄積した汚れや焦げは少しずつ上から溶けていきますので、ある程度擦ったら再度放置して反応させてください
- ⑤ 水洗いして完了
 ※ 薬液が付着したまま乾燥すると金属が変色することがありますので、周りもよく流してください



スプレーボトル編

- ① スプレーボトルに洗剤のエース HC を溶かします
 ※ 500ml に対して、汚れ具合に応じて付属のスプーン2~4杯が濃度の目安です (付属のスプーン1杯30g)
- ② 汚れのひどい部分に吹きかける
 ※ 汚れが極端にひどい場合は10~30分放置してください
 ※ 乾燥する場合は、ペーパーやラップなどで覆って乾燥させないようにしてください
- ③ スポンジで軽くこする
 ※ スポンジに十分洗剤のエースHCを含ませるとより効果があります
- ④ よく水洗い (水拭き) して完了
 ※ 洗浄液が付着したまま乾燥するとステンレスやシンクが変色します



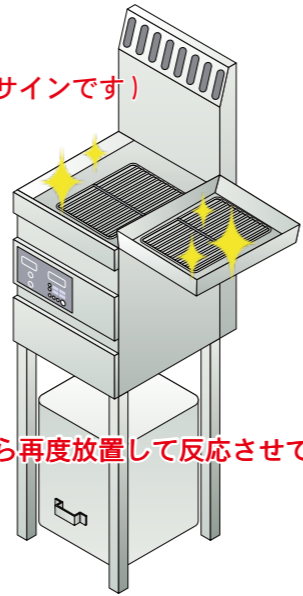
頑固な汚れや黒カビ撃退編 (裏ワザ)

- ① 湿らせた汚れや黒カビに直接 HC 粉末を塗りつける
 ※ 濡らさないと効果はありません
- ② 乾燥させないように 5~10 分放置
 ※ ラップやペーパー等で覆ってもよいです
- ③ 水洗いして完了
 ※ 洗浄液が付着したまま乾燥するとステンレスやシンクが変色します



フライヤー編

- ① フライヤーに水を貯めて 40°C に加熱する
 ※ 40°C以上熱くすると洗剤の能力が低下します
 ※ 先に洗剤のエースHCを入れると金属が変色します
- ② お湯の中に洗剤のエース HC を入れてよくかき混ぜる
 ※ 18L フライヤーで、付属のスプーン2~5杯が濃度の目安です (付属のスプーン1杯30g)
- ③ 10~60 分放置する
 ※ 汚れ具合によって時間を調整してください (指でなでて脂が溶けたらOKのサインです)
 ※ 放置しすぎると汚れが落ちなくなります
 ※ 乾燥させないでください。乾燥すると脂は再度固まります
 ※ 他の汚れたものを一緒に入れてください。ついでにきれいになります。
- ④ スポンジで軽くこする
 ※ 100円均一のスポンジで十分です
 ※ 薬液を含まない固いスポンジは不向きです
 ※ 薬液がカフェオレ色になったら油汚れが薬液に溶けたサインです
 ※ 肌の弱い方は手袋を着用してください
 ※ 蓄積した汚れや焦げは少しずつ上から溶けていきますので、ある程度擦ったら再度放置して反応させてください
- ⑤ 薬液を捨ててよく水洗いしてください
 ※ 薬液が付着したまま乾燥すると金属が変色することがあります



注意事項

- 希釈後は3日以内に使い切ってください (能力が低下していきます)
- 洗浄後は十分に水で流してください
- スプレーボトル等で対象物に吹きかけて洗浄した場合は、しっかり水拭きをしてください
- シンクに HC を入れてから希釈するとシンクの SUS が変色します
必ず、湯 (水) → 洗剤のエース HC の順で希釈してください
- シンクに洗浄液が付着して放置・乾燥すると変色しますので水でよく流してください
- ヌルヌル感がある場合はナトリウムが残っていますので水でよく流してください
- 素手で使用しても火傷や皮膚のただれはありませんが、手袋を着用するとより安全です
- 有毒な塩素ガスが発生しますので、酸性洗剤と併用しないでください
- 動物や食品の除菌洗浄には使用しないでください
- 粉末を吸入しないよう注意して取り扱ってください
- 皮膚や眼、粘膜に付着した場合は、直に水で洗い流して、(15~30分間) 必ず医師の診断を受けてください
- 他の薬品や洗浄剤と混ぜないでください
- 使用中に異常を感じた場合は、直ちに使用を中止してください
- 開封後は、容器を密閉し湿気を避け子供の手の届かぬ場所に保管してください

除菌目的にはアクアチェック HC で
有効次亜塩素酸濃度を確保

Point!

200ppm
10L:30g
20L:60g
30L:90g
40L:120g

まぜるな危険

塩素系

- 酸性タイプの製品と一緒に使う (まぜる) と有害な塩素ガスが出て危険。
- 液が目に入ったら、すぐ水で洗う。
- 必ず換気をよくして使用する。
- お子様の手につれないようにする。